

OKINAWA GENERAL CONTRACTORS ASSOCIATION

# 沖建協会報



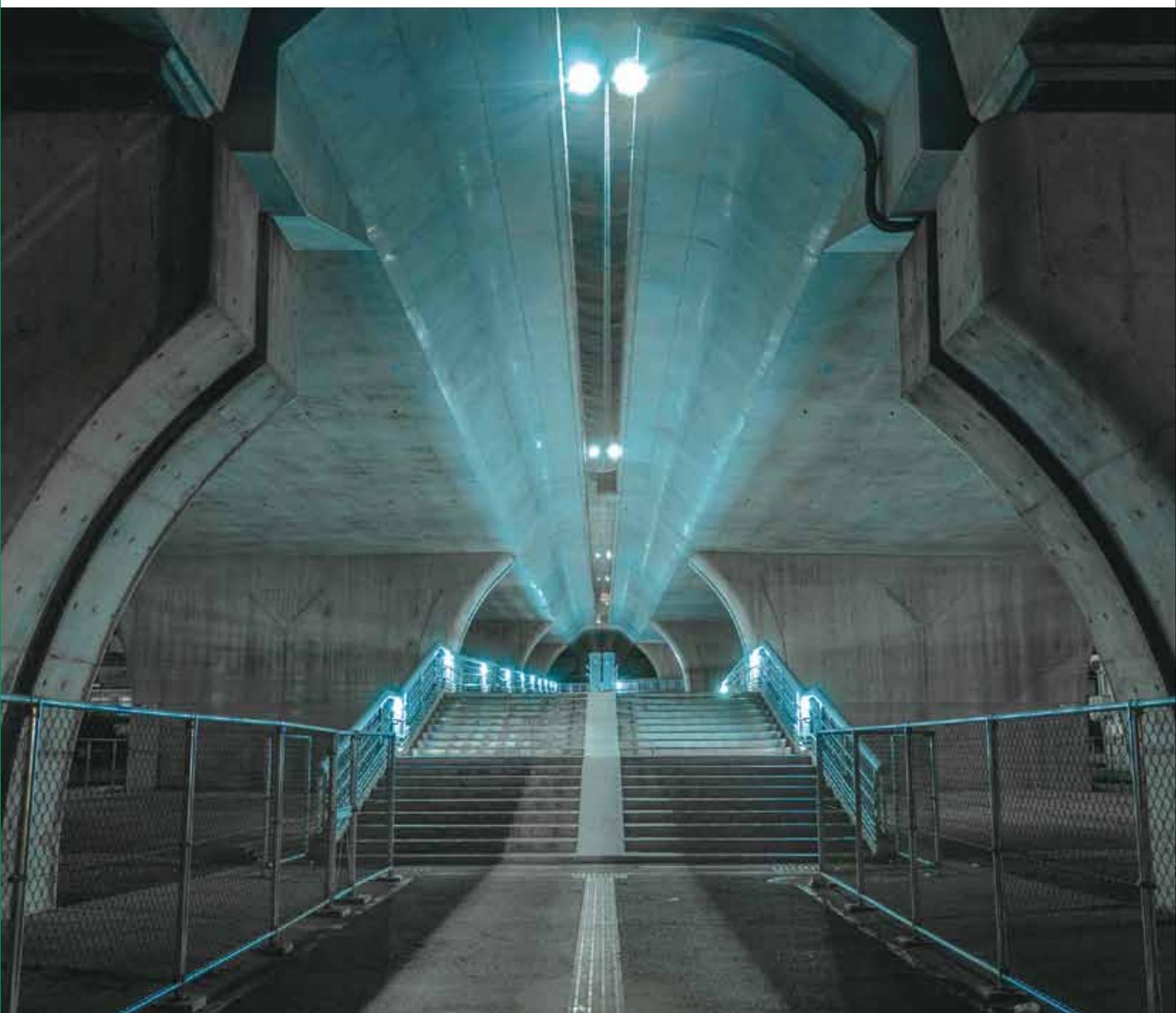
平成30年

No.583

12  
月号

## 今月号の主な内容

- ◆ 第7回役員会を開催
- ◆ おきなわ建設フェスタ開催
- ◆ 建設雇用改善優良事業所表彰
- ◆ 平成30年を振り返る



## 目次

### <NEWS>

第7回役員会を開催	1
県災害対策本部運営訓練に参加	3
沖縄労働局が要請	3
第3回おきなわ建設フェスタ開催	4
平成30年度県建設雇用改善優良事業所表彰	6
第10回フォトコンテスト表彰式	8
高校生現場実習を開催	10
おきなわ技能五輪・アビリンピック2018県内初開催	11

### <写真特集>

平成30年を振り返る	12
------------	----

### <お知らせ>

建設業福祉共済団からのお知らせ	14
西日本建設業保証からのお知らせ	15

### <建設雇用改善コーナー>

人材開発支援助成金の案内	16
--------------	----

### <Message～後輩たちへ>

### <事務局から>

協会の動き	18
今後の日程	19

### <会員の異動>

### <表紙写真>

**【青年部会第9回フォトコンテスト  
～島の魅力～優秀作品より】**

**〔造の部 最優秀賞〕**

題名：近未来

撮影者：具志堅 一彦

撮影場所：糸満道路

# 働き方見直しの取り組みを推進

## 第7回役員会を開催



会員承継3件を審議した

平成30年度第7回役員会を11月12日、建労センターで開催した。

開会のあいさつで比嘉森廣副会長は、11日に開催された建設フェスタについて、前回の7000人を大きく超える約1万3000人の来場があったと報告。「各ブースとも建設業の楽しさ、おもしろさなど、子どもたちに興味を持ってもらうような、さまざまな工夫が凝らされていた」と労いの言葉を述べた。

議事では、会員承継3件を審議、全会一致で承認した。その他事項では、沖縄労働局の安達隆文局長から、沖建協をはじめ県内の経済団体への「長時間労働削減を始めとする働き方の見直しに向けた取組みに関する要請」があったことを報告。要請は10月31日に那覇市の沖縄産業支援センターで、沖建協のほか、県経営者協会や商工会議所連合会、工業連合会など県内経済団体の長あてに行われ、協会からは比嘉副会長が出席した。主な要請内容は、長時間労働の削減等の問題に関して沖縄労働局が取り組み進めている①著しい過重労働や賃金不払残業などの撲滅に向けた



開会のあいさつをする比嘉副会長

監督指導の強化②休暇の取得促進を始めとした「働き方の見直し」に向けた企業への働きかけの強化—について、会員企業へ取組みへの理解と周知徹底を呼びかけた。

次に、事務局から、沖建協と全国建設業協会、建設業福祉共済団の共催による「労働安全を中心とした研修会」(11/14)への参加呼びかけを行った。研修内容は、①建設業に求められる体制と資格②リスクアセスメントと作業手順書③安全施工サイクル活動の必要性—について。受講修了者にはCPDS7ユニットが付与される。また、11月の建

設業取引適正化推進月間の取り組みの一環となる「建設業法令遵守等講習会」(11/22)への参加呼びかけも行った。

このほか、青年部会主催の献血キャンペーン(12/6、7)、土木の日に関連したシンポジウム「深刻な沖縄の道路交通問題の解決に向けて」(11/21、沖縄の土木技術を世界に発信する会主催)、国立研究開発法人土木研究所主催の新技术ショーケース2018in那覇(12/19)、12月6日に開催する「公共建築工事の積算講習会」への参加呼びかけを行った。建築工事積算講習会は沖縄県での開催は初めて。

閉会のあいさつで、仲本豊副会長は、11日の建設フェスタにふれ「子どもたちの喜びにあふれた笑顔と歓声が響いていた」と述べ、「参加した専門業者の皆さんは準備などいろいろ大変だったと思うが、建設業の3Kの古いイメージを払拭するような、良いフェアだったと思う」と強調。さらに「子どもたちに建設産業、専門職業の素晴らしさを理解してもらうことが、今後業界が繁栄していく力になっていくと思う」と語り、引き続きの協力を会員企業へ呼びかけた。

#### ○議事

##### 1、会員資格の承継について

【那覇支部】(株)善太郎組(代表取締役翁長恵子)、  
(株)野原建設(代表取締役上地修)

【浦添・西原支部】オパス(株)(代表取締役社長與那嶺泰輔)



閉会のあいさつをする仲本副会長

#### ○その他事項

- 1、長時間労働削減を始めとする働き方の見直しに向けた取組みに関する要請について
- 2、各種講習会の開催について
- 3、青年部会「献血キャンペーン」の実施について
- 4、沖縄の土木技術を世界に発信する会第23回シンポジウム～深刻な沖縄の道路交通問題の解決に向けて～
- 5、公共建築工事の積算講習会開催のご案内
- 6、土研 新技术ショーケース2018 in 那覇



## 県の災害対策本部設置運営訓練に参加

沖建協は11月6日に行われた災害対策本部設置運営訓練に参加した。訓練は県災害対策本部の対応能力向上を図る目的で毎年行われており、国、県と協定を締結している各機関や関係団体などから200人が参加。各担当セクションに分かれ、災害発生時の図上訓練を行った。

沖建協は今回、インフラ班に配置され、会員企業から送られてくる主要道路の被災情報等の収集活動にあたった。訓練では、GPS付写真による道路被災状況の情報収集や、グーグルハングアウトを活用して会員との連絡確認などを行った。昨年実施した訓練では、状況確認用の写真をメールに添付する形態をとっていたことから、大量の写真の識別や、写真容量が大きすぎてスムーズに受信できず、対応に時間がかかるなどの課題が残った。今回クラウドを活用することで、迅速に対応することができた。訓練に参加した久高唯和課長は「協会は道路啓開、道路被災状況の情報収集・提供が主な業務となり、非



インフラ班に配置され訓練を行った常時にも対応できるようにしたい」と話した。

今回の訓練は、午前10時、本島南東沖でマグニチュード8・8、最大深度6弱の地震とともに、3メートルから10メートル以上の津波が発生したと想定。シナリオを用意しないブラインド方式で災害状況の情報収集や分析、共有、実施すべき対応の決定など対策本部の機能を検証した。

## 沖縄労働局が働き方見直しで要請

沖建協は10月31日、那覇市の沖縄産業支援センターで、沖縄労働局の安達隆文局長から、長時間労働の削減など働き方の見直しについて要請を受けた。

要請は、沖建協のほか、経営者協会や商工会議所連合会など県内の経済団体6団体に対して行われた。

沖縄県の労働環境状況をみると、月平均総実労働時間は148.8時間で、全国平均の143.4時間を上回っているほか、月間の出勤日数も全国平均を上回っている。一方、平均給与(月額)は全国に比べ6万円程度低くなっている。安達局長は「各社で働き方の見直しを推進してほしい。労働環境の改善に向けて、さまざまな支援措置があるので活用してもらいたい」と述べた。出席した比嘉森廣副会長は「建設業は公共と民間で発注者の考え方が違う。民間では工期短縮を求められることが多い。公共では改正品



安達局長(左)から要請文を受け取る比嘉副会長

確法などで一定の配慮がなされているが、まだ十分ではないので、週休2日の導入などをお願いしている」と取り組み状況を説明した。

要請は11月の「過労死等防止啓発月間」に合わせて、労働局が行っている「過重労働解消キャンペーン」の一環で行われた。

# 進化する建設産業をたっぷり体感

第3回おきなわ建設フェスタ開催



多くの親子連れでにぎわった

第3回建設フェスタおきなわ(事業主体・おきなわ建設フェスタ実行委員会)が11月11日、沖縄市の県総合運動公園園体育館と周辺駐車場で開かれ、親子連れ約1万3000人が来場した。

実行委員長を務めた下地米蔵会長は、「人手不足が深刻化している中で、建設業界も同様に人材確保に苦慮している。建設産業には多種多様な企業や団体があり、日々新しい技術・機材を活用して県内の社会基盤の整備を進めるとともに、大規模災害にも迅速に対応できるよう常に準備している」と建設産業が社会的役割を果たすべく、日々取り組んでいると強調。「今日のイベントで建設産業に身近にふれて、楽しみながら理解を深めてほしい」と話した。

各ブースでは、子どもたちやその保護者らに建設産業の魅力や役割を知ってもらおうと、ドローン操作や、草花寄せ植え、測量体験、ホビー建設機械を操作して景品を獲得するゲームなど、各ブースともそれぞれ工夫を凝らした。沖建協では、専用のブースで建設現場における工事の過程から竣工ま

での動画やホビードローンの操作体験、復旧支援等のパネル展示。重機のラジコン操作体験、ドローン操作体験には長い列ができた。さらに、青年部会が実施したフォトコンテストの受賞作品をブース内に展示し、実際の建設業の役割を紹介しながら、その魅力とやりがい、楽しさなどを発信した。

子どもたちに同行した保護者にも、ICTの仕組みや最新技術で施工を行っている建設現場など、日々進化を遂げている建設産業について紹介。子どもたちにはさまざまな体験を通して、楽しみながら身近な職業としての建設産業に触れて、体感してもらった。

保護者からは「子どもたちがとても喜んでいたので良かった。将来につながるいい機会になると思う」「初めて来たが、とても良かった。また来たい」などの感想が寄せられた。子どもたちからは「将来、家をつくる仕事をしたい」「いろいろな体験ができて良かった」などの声が聞かれた。



テープカットする下地委員長(左から4人目)ら



オープンと同時に駆け込む子どもたち



コントローラーさばきも真剣そのもの



未来のけんせつ小町発見!



ロードローラーを操る建設女子



橋を組み立て記念撮影



フォトコンの作品に見入る来場者

慎重にユンボを操作



高所作業車もフル稼働



# 東洋土木工業ら6社23人が受賞

## 平成30年度県建設雇用改善優良事業所表彰

建設労働者の雇用改善等に積極的に取り組んでいる企業などを表彰する「平成30年度沖縄県建設雇用改善優良事業所表彰式」が11月13日、県庁で行われ、知事表彰に(株)東洋土木工業(赤嶺武男代表取締役)が輝き、県商工労働部の屋比久盛敏部長から表彰状と記念品が授与された。沖建協会長表彰には(株)川平土木(川平賀継代表取締役)と(株)大成ホーム(喜名奎太代表取締役)、(株)米盛建設工業(米盛博明代表取締役)の3社が選ばれた。

また、建設業界で勤務する30歳未満の技術・技能系職種の従業員で勤務成績が優秀で他の模範となる者を優良若年建設従事者として23人を表彰したほか、(独)勤労者退職金共済機構理事長表彰を受けた(株)喜屋武建設(喜屋武一仁代表取締役)と南洋土建(株)(比嘉森廣代表取締役)2社への伝達も津波達也副会長から行われた。

知事表彰に輝いた(株)東洋土木工業の赤嶺武信副社長は「受賞は大変光栄に思う。今後とも沖縄の建設業の発展に大きく貢献できるよう鋭意取り組んでいく」と決意を述べた。また、優良若年建設従事者表彰を受賞した(株)大米建設の照喜名大地氏は「受賞できると思っていなかったので大変うれしく思う。現在公共建築工事に携わっているので、利用者が満足する建物をつくれるよう努力していきたい」と意欲を示した。

受賞者は次の通り(敬称略)。

### 【知事表彰】

(株)東洋土木工業(赤嶺武男代表取締役)

### 【(一社)沖縄県建設業協会会長表彰】

(株)川平土木(川平賀継代表取締役)

(株)大成ホーム(喜名奎太代表取締役)

(株)米盛建設工業(米盛博明代表取締役)

### 【(独)勤労者退職金共済機構理事長表彰】

(株)喜屋武建設(喜屋武一仁代表取締役)

南洋土建(株)(比嘉森廣代表取締役)



知事表彰に輝いた(株)東洋土木工業



会長表彰を受賞した(株)川平土木



(株)大成ホーム(会長表彰)



(株)米盛建設工業(会長表彰)



(株)喜屋武建設(勤労者退職金共済機構理事長表彰)



南洋土建(株)(勤労者退職金共済機構理事長表彰)



(前列左から) (株)米盛建設工業、(株)大成ホーム、(株)川平土木、津波副会長、屋比久部長、(株)東洋土木工業、(株)喜屋武建設、南洋土建(株)  
(後列) 優良若年建設従事者表彰に選ばれた皆さん

【優良若年建設従事者表彰】



玉城 哲治  
(金秀鉄工(株))



中島 理  
(株)沖電工



大嶺 杏太  
(株)沖電工



武東 慶樹  
(ムトウ建設(株))



東嵩西 大地  
(株)信用組



神谷 将一  
(比嘉工業(株))



照喜名 大地  
(株)大米建設



古堅 一彰  
(株)大米建設



澤岨 俊彦  
(株)仲本工業



島袋 太貴  
(株)仲本工業



下地 敏彦  
(株)富廣建設



玉城 健太  
(株)大城組



比嘉 浩希  
(株)太名嘉組



城間 幸貴  
(株)太名嘉組



宜保 勝也  
(株)明成建設



金城 直仁  
(オパス(株))



宮城 太智  
(オパス(株))



大庭 雄吾  
(株)福地組



山内 梨加  
(株)福地組



島袋 雄飛  
(沖電開発(株))



與那原 大  
(共和産業(株))



大兼久 裕也  
(株)屋部土建



上原 慎也  
(株)屋部土建

## 第10回フォトコンテスト入賞作品決定

グランプリに安積さんが輝く



受賞者と青年部会、関係者の皆さん

青年部会(黒島一洋部会長)は11月19日、県庁ロビーで「第10回フォトコンテスト～島の魅力～」の表彰式を行った。「人の部」に91点、「造の部」に114点の応募があり、最終審査に残った中からそれぞれ、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞1点が選ばれたほか、フォトコン10年目を記念して、過去10回の最優秀作品の中から「グランプリ賞」1点を選定した。

黒島部会長は「多くの応募に改めて感謝。このフォトコンテストが建設業に対する理解やイメージアップにつながるものと期待している」と語った。

グランプリ賞を受賞した安積美加さんは「今回受賞した写真は、偶然撮影したもので、2年前にたまたま目にしたフォトコンテストに応募したもの」と話し、「グランプリ賞の受賞の連絡が来たときは驚いたが、大変うれしく思う。今後建設業の魅力を伝える写真が数多く輩出されれば良いと思う」と喜びを語った。

入賞作品は県庁ロビーに展示され、訪れた人は作品をじっくりと鑑賞していた。今後もモノレール駅等で作品展示を行う予定。



グランプリを受賞した安積さん

【第10回記念グランプリ賞】

【人の部】



安積 美加「まなざし」



【最優秀賞】山中 将史  
「海底のアルマゲドンな男達」



【優秀賞】森田 倫子「建て方」



【優秀賞】島袋 海斗  
「この一本から始まる技術の数々」

【特別賞】

・中村 航大「ひとつ、ひとつ、ていねいに」

【入選】

- ・高良 史哉「微調節の職人」
- ・國井 昌紀「木材はオテノモノ」
- ・喜舎場信吾「女性目線の繊細な仕事」
- ・多和田真彦「地上150mのエンジニア達」
- ・大城 一学「地下で活躍するカニクレーン」
- ・安里 和晃「初めての名刺交換～新入社員と体験学習生～」
- ・大城ひとみ「完全装備」
- ・浦崎 絹江「未来の建築家」
- ・新城 元貴「命どう宝」

【造の部】



【最優秀賞】おおきゆうこう「浜辺のドーム」



【優秀賞】仲泊 哲「空へ続く道」



【優秀賞】仲地 慶師「遊覧フェリーから」

【特別賞】

・内野 周太「真夜中の工事現場」

【入選】

- ・宮里 智行「70トン1スイング」
- ・比嘉 達志「重さ20トン！空飛んだ」
- ・仲程梨枝子「巨大メトロノーム」
- ・前盛 来華「学びの場」
- ・多和田真彦「滑らかなる曲線」
- ・安里 和晃「もーいっぱい！」
- ・仲地 慶師「目指すは、2020東京五輪」
- ・宜志富雅弘「通水カルバート据付」
- ・狩俣 勇佑「夕日とタワークレーン」

【みんなの公共建築賞】

【みんなの公共土木賞】

【沖縄建設新聞社長賞】



真栄城 浩「威風堂々」



平良 達也「トンネルの果ては」



當山 新子「穴の中の作業」



城間 健「トンネル過ぎて  
てだこ浦西駅、来春始動！」



喜納 元気「新技術の活用  
レーザーキャナー」



大島 愛理「輝く知識の杜」

【現場で働く  
美ら小町賞】



吉野 咲枝  
「未来に輝く建設女子」

# 沖工高生がIot現場を体感

## 高校生現場実習を開催



建設コンサルの概要を開いた

沖建協が建設雇用改善推進事業の一環で実施している高校生現場実習が9月から11月にかけて行われた。現場実習は毎年、会員企業を中心に協力を得て実施しているもので、今回は県立沖縄工業高校土木科3年生を対象に、那覇市の(株)ホープ設計と、豊見城市の(株)豊神建設が施工する与那原町字与那原地内の道路改良工事の建設現場で行われた。学校側からの要望もあり、建設コンサルタント会社での実習を今回初めて行った。

このうち、ホープ設計では9月3日から10月22日の間、5回に分けて建設コンサルの概要や測量・土質調査、農業用施設や漁港・漁場の設計について学んだほか、3次元データ等を用いた設計やICT建機の導入など新しい技術を活用した現在・将来における建設現場の在り方などについて知識を深めた。

引率した真境名純教諭は「建設コンサルタントの設計業務のうち、計画についての授業時間は少ないので現場実習で学べることはとても良い機会だ」と述べた。

また、豊神建設が施工する与那原地区の道路改良(その2)工事の現場では、10月29日から11月26日の間、5回に分けて道路土工の測量や出来形管理、ドローンの空中撮影について学んだ。同現場では、3次元設計データを搭載してトータルステーション(TS)を使った測量を行っており、生徒



TS測量を体験した

らはTS測量を体験した。安谷屋元樹現場代理人は、「従来は人が測量計算をしていたが、TSが距離と角度を測り自動で計算してくれるので、より正確に測量ができるようになった。ほかにも、3次元設計データを取り込めるバックホウなどもあり、丁張りなしで法面施工ができる」と話し、ICT機器や建機が現場で活用されていると説明した。

実習に参加した生徒らは「授業で学習した測量とは全然違って、測量も進化していてすごいと思った」「ドローンに興味があるので今後の実習も楽しみ」と感想を語った。

## 県内初開催の おきなわ技能五輪・アビリンピック2018

沖縄初開催となった第56回技能五輪全国大会と第38回全国アビリンピック（おきなわ技能五輪・アビリンピック2018）が11月2日～5日の日程で、那覇市の奥武山公園など県内14会場（県外1会場）で開かれた。建設産業関連では県内から造園や配管、構造物鉄工、建築大工などに選手が出場。沖建協では、大会成功に向け、大会推進協議会に参画し支援した。



構造物鉄工に出場した玉城順市さん（株）仲本工業



當間元士さん（金秀建設株）は造園で銀賞を獲得した



左官に2年連続出場の前嘉桃花さん（有）道鬼左官工業



建築大工に出場した唐渡竜太郎さん（株）安永建築



家具に出場した石橋葵さん  
（浦添工業高校）



アビリンピック/建築CADで金賞に  
輝いた知念靖さん（有）創建設計事務所



配管で敢闘賞を獲得した屋宜宣好さん（三栄工業株）

## 平成30年を

今年も沖建協では、さまざまな活動を通し会員企業や建設業界、地域社会に貢献してきた。2018年(平成30年)の協会活動を振り返る。

### ■新春の集い・通常総会・県知事表彰など■



関係者多数が集まり盛会だった新春の集い<1月>



第69回通常総会で事業計画などを承認<5月>



平成30年度優良建設業者県知事表彰(建築)<5月>



平成30年度優良建設業者県知事表彰(土木)<5月>

### ■意見交換会・要請活動■



県土木建築部との意見交換会<2月>



青年部会と県土建部との意見交換会<8月>



青年部会と徳島建協青年部との意見交換会<10月>



県教育庁へ建築系学科新設を要請<8月>

### ■講習会・研修会など■



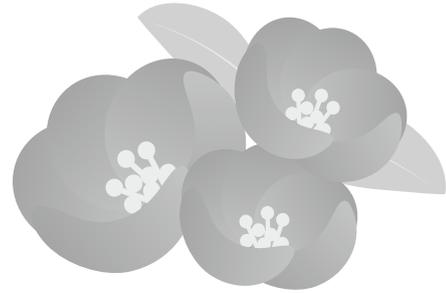
労働安全講習会<10月>



工事総合補償制度の説明会開催<1月>

# TOPICS

## 振り返る



### ■雇用改善・若年者入職促進■



建設企業合同説明会2018開催<6月>



おきなわ建設フェスタ開催<11月>



新入社員対象の宿泊研修<4月>



高校生の車両系資格取得を支援<7-8月>



約1万3000人が訪れた  
<11月・建設フェスタ会場>



沖縄工業高校で建設業について講話<2月>



建設業の魅力発信<7月・糸満中学校>



高校生現場見学会<6-10月>

### ■社会貢献■



国・県と災害包括協定を締結<2月>



「美ら島レスキュー」に参加<7月>



西日本豪雨で日赤へ義援金を託す<9月>

# お知らせ

## <法定外労災補償制度>

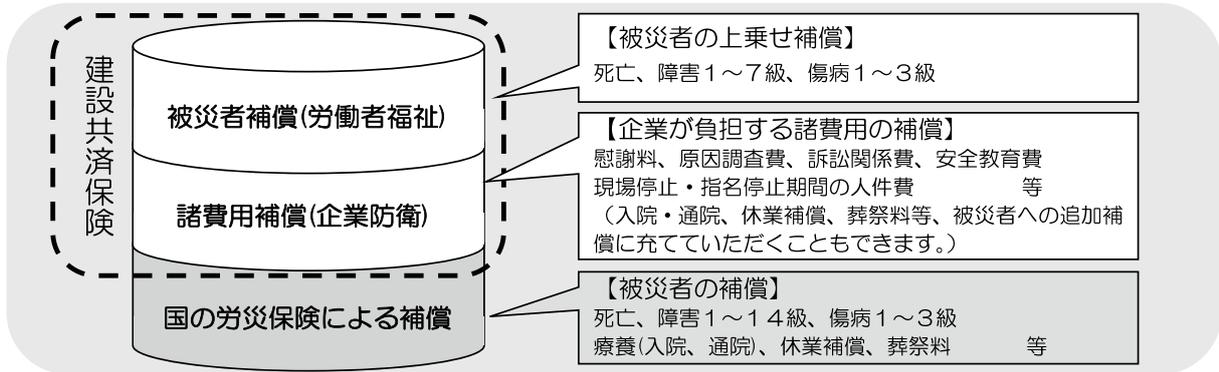
### 建設共済保険は労働者と企業のリスクをカバーします!

(年間完成工事高契約)

#### ◆建設共済保険は、建設業界の声を受けて生まれた制度です。

建設共済保険は、建設業を対象にした法定外労災補償制度の創設を望む建設業界の声を受け、昭和45年に全国建設業協会と建設業福祉共済団が特約を結び、建設省(現：国土交通省)及び労働省(現：厚生労働省)の認可を受けてわが国で初めて創設された制度です。

運営団体の建設業福祉共済団は平成25年度に公益認定を取得し、公益財団法人としてより一層の労働者の福祉の向上や建設業の更なる発展等を目指し運営しています。また、当共済団は、各都道府県建設業協会の賛助会員であり、事務委託契約を結んで建設共済保険の普及促進を行っています。



#### 1. 加入対象企業

国土交通大臣または都道府県知事の建設業許可を取得している建設業者であれば加入いただけます。

#### 2. 補償の対象となる方

保険契約者が施工する元請・下請工事現場に就労する、自社および下請会社に雇用される労働者(アルバイト等を含みます。)を無記名で補償します。

※保険契約者である事業主(労災保険の特別加入をすることができる方(従業員300人以下の場合))も補償対象となります。

※役員、事務職員等の方は追加加入いただけます。詳しくはお問い合わせください。

#### 3. 保険金をお支払いする場合

労災保険法に定める業務上または通勤途上の災害により、死亡、障害の1級から7級、または傷病の1級から3級に該当した場合です。

#### 【建設共済保険の特長】

- ①建設業における自主的な共済保険で掛金が安い
- ②災害発生時に企業が負担する諸費用も補償
- ③同一事故で多数被災した場合でも補償額の上限なし
- ④元請・下請を問わず無記名で補償
- ⑤代表者(保険契約者)も補償(従業員300人以下の場合)
- ⑥経営事項審査において15点の加点

#### 【年間掛金の目安】

保険金区分合計 1,000万円

(被災者補償保険金 500万円)

(諸費用補償保険金 500万円) の場合

完工高	土木一式工事	建築一式工事
1億円	33,440円	12,760円
2億円	57,760円	22,040円
5億円	121,600円	46,400円
10億円	197,600円	75,400円
50億円	760,000円	290,000円

保険金区分合計を2,000万円、3,000万円、4,000万円とする場合は、それぞれ上記掛金の2倍、3倍、4倍となります。

◆「建設共済保険」の他にも次のような事業を行っています。

#### 【育英奨学事業】

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付します。

#### 【労働安全衛生推進事業】

- 安全衛生用品の頒布
- 女性専用トイレ導入費用に対する助成
- 安全衛生推進者表彰 等

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは

公益財団法人 **建設業福祉共済団**

Tel 03-3591-8451

URL:<http://www.kyousaidan.or.jp/>

取扱機関

一般社団法人 **沖縄県建設業協会**

Tel 098-876-5211

建設共済保険

検索

## 沖縄県内の公共工事動向 (平成30年10月分)

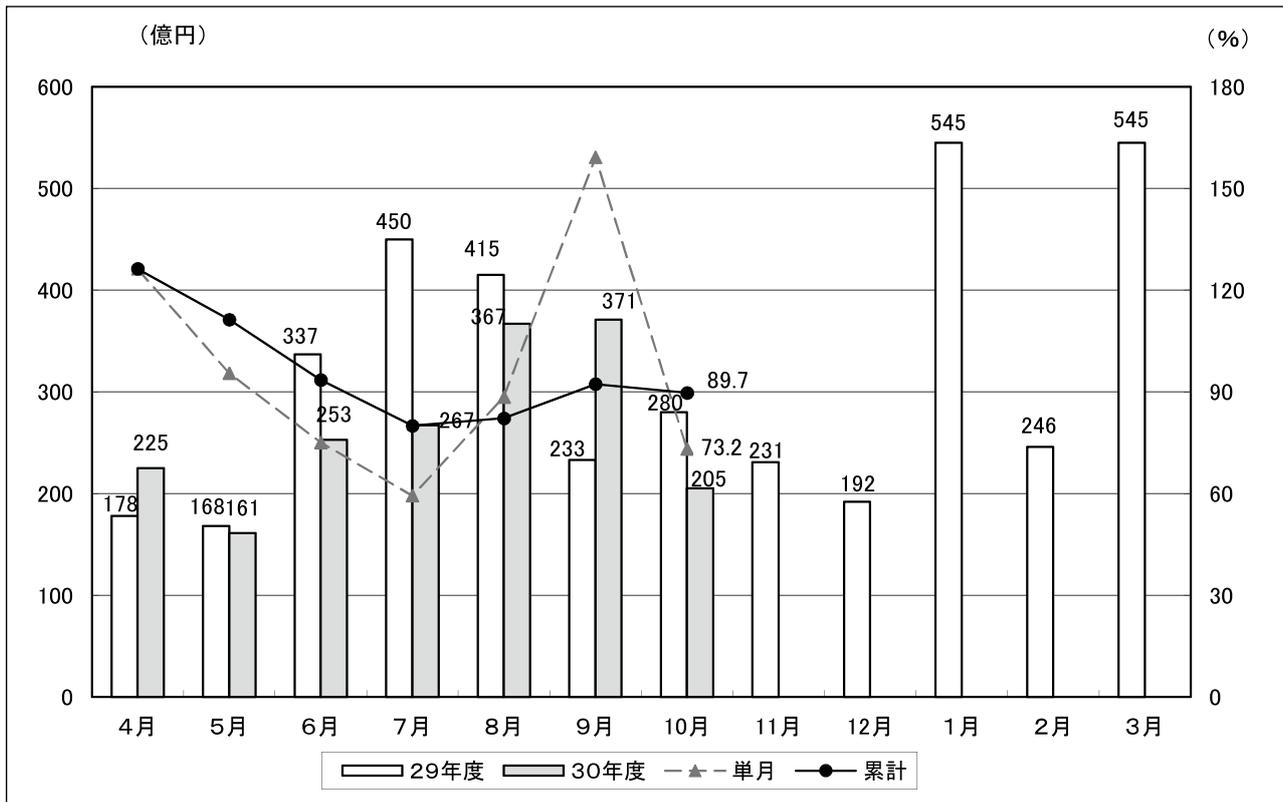
西日本建設業保証(株) 沖縄支店

### ▼ 概況

(単位：件、百万円、%)

	当 月		前年同月比		累 計		前年同期比	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	30	1,906	69.8	25.4	306	49,005	89.2	60.8
独立行政法人等	4	1,383	133.3	1,583.8	19	4,399	100.0	104.0
沖縄県	99	6,902	105.3	137.8	680	54,497	93.7	107.6
市町村	185	9,562	85.6	64.7	1,040	69,792	97.0	117.1
その他	17	803	141.7	117.4	92	7,550	93.9	66.6
平成30年度	<b>335</b>	<b>20,558</b>	<b>91.0</b>	<b>73.2</b>	<b>2,137</b>	<b>185,246</b>	<b>94.6</b>	<b>89.7</b>
平成29年度	368	28,073	89.8	76.5	2,258	206,457	92.4	109.2
平成28年度	410	36,683	80.4	75.9	2,444	189,077	100.7	97.2
平成27年度	510	48,301	101.2	174.7	2,427	194,528	91.8	101.6
平成26年度	504	27,642	88.0	88.2	2,643	191,374	98.1	116.8

### ▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移



# 人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。企業の人材育成と労働者の職業能力開発のために、ぜひ、ご活用ください。

## 〈平成30年4月1日からの主な改正内容〉

- キャリアアップ助成金の人材育成コース、建設労働者確保育成助成金の認定訓練コース及び技能実習コース、障害者職業能力開発助成金を統合し、助成メニューを7類型（特定訓練コース、一般訓練コース、特別育成訓練コース、教育訓練休暇付与コース、建設労働者認定訓練コース、建設労働者技能実習コース、障害者職業能力開発コース）に整理統合しました。
- 労働生産性が向上している企業について支給する割増助成分について、特定訓練コースのみ、訓練開始日が属する会計年度の前年度とその3年度後の会計年度と比較する成果主義へ変更しました。
- 制度導入助成について、教育訓練休暇付与コースを新設するとともに、キャリア形成支援制度導入コース及び職業能力検定制導入コースについては、平成29年度限りで廃止いたしました。

その他詳細はHP ([http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)) などでご確認ください

## 〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画（訓練様式第1号）

→訓練開始日から起算して1カ月までに提出するようお願いします。

例：訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日（6月31日がないためその前日）

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日（前月の同日が期限）

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日（2月29日までである場合は29日）

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である訓練等の訓練実施計画届の提出期間については、訓練開始日から起算して原則1カ月前に提出するようお願いします。

※訓練実施計画届提出時において、提出が困難な添付書類がある場合には当該添付書類について訓練開始日の前日までに提出するようお願いします。

※申請期限について平成29年度と取り扱いが異なるのでご注意ください。

## 人材開発支援助成金

特定訓練コース	・労働生産性の向上に係る訓練 ・技能継承等の訓練	・雇用型訓練 ・グローバル人材育成の訓練	・若年労働者への訓練
一般訓練コース	上記以外の訓練		
教育訓練休暇付与コース	・有給教育訓練休暇制度を導入し、労働者が当該休暇を取得して訓練を受けた場合に助成		
特別育成訓練コース	・一般職業訓練	・有期実習型訓練	・中小企業等担い手育成訓練
建設労働者認定訓練コース	・認定職業訓練または指導員訓練のうち建設関連の訓練		
建設労働者技能実習コース	・安衛法に基づく教習及び技能講習や特別教育 ・能開法に規定する技能検定試験のための事前講習 ・建設業法施行規則に規定する登録機関技能者講習 など		
障害者職業能力開発コース	・障害者職業能力開発訓練施設等の設置等 ・障害者職業能力開発訓練運営費（人材費、教材費等）		

**お問い合わせ先**  
 沖縄労働局職業安定部  
 職業対策課 助成金センター  
 TEL:098-868-1606  
 FAX:098-868-1612

## 〔助成額・助成率〕（ ）内は中小企業以外の助成額・助成率

支給対象となる訓練	賃金助成 (1人1時間当たり)		経費助成		実施助成 (1人1時間当たり)	
		生産性要件を満たす場合		生産性要件を満たす場合		生産性要件を満たす場合
① 特定訓練コース ※						
Off-JT	760円(380円)	960円(480円)	45%(30%)	60%(45%)	—	—
OJT	—	—	—	—	665円(380円)	840円(480円)
② 一般訓練コース						
Off-JT	380円	480円	30%	45%	—	—
③ 教育訓練休暇付与コース	—	—	30万円	36万円	—	—

※認定実習併用職業訓練において、建設業、製造業、情報通信業の分野（特定分野）の場合は経費助成率を30%→45%、45%→60%、60%→75%へ引き上げます。

## Message ~後輩たちへ~

### まっすぐに整備した道を見ると最高です!!

宮古島では主にほ場整備工事などに取り組んでいます。既存の畑を区画整理することで、畑がきれいに分けられ道路もまっすぐに通り見晴らしもとても良くなりました。竣工後はかなりの達成感があります。早い段階からドローンを取り入れ、最新技術を駆使しながら作業を行っています。



魚口地区圃場整備工事(H29-2)の現場代理人を務めた。伊良部島の現場の仕事を通して、地元農家の意見や取り組みについて知見を深めることができた。



伊良部高等学校出身

下地 敏彦さん(29歳)

(株式会社富廣建設 土木部)

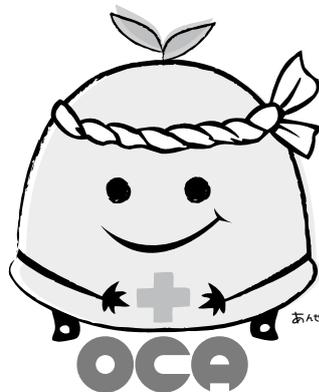
しもじ・としひこ／宮古島市伊良部出身／2008年3月伊良部高校普通科卒業／2012年3月琉球大学工学部機械システム工学科卒業／2013年5月株式会社富廣建設入社

将来の夢：生まれ故郷の伊良部島を誰もが住みやすく、過ごしやすい島にすること。

## 沖建協「見える化」イメージアップキャラクター

# あんぜんぼーや 誕生!!

地域と共に、未来を築く



Okinawa General Contractors Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人 沖縄県建設業協会

Okinawa General Contractors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4サイズ、A3サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

## 平成30年11月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	木		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全建「労働問題連絡協議会」(東京都)</li> <li>・九州建設青年会議「役員会・意見交換会」(福岡県)</li> </ul>
2	金		<ul style="list-style-type: none"> <li>・おきなわ技能五輪・アビリンピック2018推進協議会「技能五輪全国大会及び全国アビリンピック合同開会式典」(那覇市)</li> </ul>
3	土		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県「沖縄県功労者表彰式典」(那覇市)</li> </ul>
5	月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・おきなわ技能五輪・アビリンピック2018推進協議会「技能五輪全国大会及び全国アビリンピック合同閉会式典」(那覇市)</li> </ul>
6	火		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県防災危機管理課「沖縄県災害対策本部設置運営訓練(図上訓練)」(那覇市)</li> <li>・産業教育振興会「御下賜金記念産業教育功労者表彰伝達式」(那覇市)</li> </ul>
7	水		<ul style="list-style-type: none"> <li>・九建協「技術担当職員研修会」(福岡県)</li> </ul>
9	金		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路利用者会議事務局「安全安心の道づくりを求める全国大会」(東京都)</li> </ul>
11	日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協・建産連「第3回おきなわ建設フェスタ」(沖縄県総合運動公園)</li> </ul>	
12	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協「正副会長会議」(建労センター)</li> <li>・沖建協「役員会」(建労センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済団体会議「沖縄振興税制改正要望活動」～11/13(火)迄(東京都)</li> </ul>
13	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協青年部会「役員会」(沖建協委員会室)</li> <li>・沖建協・沖縄県共催「沖縄県雇用改善優良事業所表彰式」(県庁)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県中央家畜保健衛生所「中南部地域特定家畜伝染病防疫実動演習」(八重瀬町・糸満市)</li> <li>・建設業企業年金基金「資産運用委員会」(浦添市)</li> </ul>
14	水		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県技術・建設業課「ICTモデル事業支援協議会」(浦添市)</li> <li>・九建協「専務・事務局長会議、保証会社意見交換会」(鹿児島県)</li> </ul>
15	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協「防災研修ハイライト版【本島内】」～11/16(金)迄(建労センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄建設新聞「取締役会」(那覇市)</li> </ul>
16	金		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県労働政策課「沖縄県契約審議会」(那覇市)</li> <li>・県消費・暮らし安全課「飲酒運転根絶県民大会」(南風原町)</li> </ul>
19	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協「防災研修ハイライト版【八重山支部】」～11/20(火)迄(八重山建設会館)</li> <li>・沖建協青年部会「フォトコンテスト表彰式」(県庁)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全建「技術研究発表会」(東京都)</li> </ul>
20	火		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全建「全国会長会議」(東京都)</li> <li>・暴力団追放沖縄県民会議「暴力団追放沖縄県民大会・暴力団壊滅沖縄市民総決起大会」(沖縄市)</li> </ul>
21	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協「防災研修ハイライト版【北部支部】」～11/22(木)迄(北部生涯学習推進センター)</li> </ul>	
27	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協「防災研修ハイライト版【宮古支部】」～11/28(水)迄(宮古建設会館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄建設新聞「定時株主総会」(那覇市)</li> </ul>
28	水		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済団体会議「幹事会」(那覇市)</li> </ul>
29	木		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)</li> <li>・沖縄総合事務局道路管理課「道路啓開訓練」(読谷村)</li> <li>・西日本建設業保証「参与会」(大阪府)</li> </ul>
30	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖建協「不当要求防止責任者講習【八重山地区】」(八重山建設会館)</li> </ul>	

## 平成30年12月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
3	月		・建設業振興基金「建設関連職業訓練校等連絡会議」～12/4(火)迄(東京都)
4	火		・全国建設青年会議「会長会議及び全国大会」(東京都)
5	水		・防衛協会「理事会」(那覇市)
6	木	・沖建協青年部会「献血キャンペーン」(天久りうぼう楽市)	・建設業振興基金「連携団体職員合同研修会」～12/7(金)迄(東京都) ・九建協「総務・経理担当職員研修会」(佐賀県) ・沖縄地域留学生交流推進協議会「総会」(西原町)
7	金	・沖建協青年部会「献血キャンペーン」(イオン具志川店)	・全国土木技士会「国土交通省との意見交換会」(東京都)
10	月	・沖建協「正副会長会議」(建労センター) ・沖建協「役員会」(建労センター)	
11	火	・沖建協青年部会「沖縄総合事務局との意見交換会」(沖縄総合事務局)	・全国建産連「専門工事業全国会議」(東京都)
12	水	・沖建協「建設業経理士2級受験準備講習会」～12/13(木)迄(建労センター)	
14	金		・全国土木技士会「事務局長及び実務担当者合同会議」(東京都)
20	木		・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)
25	火		・「生コンクリート品質管理監査会議」(那覇市)

### [12月号会員の異動]

#### 代表者・所在地・組織等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P18	那覇	株佐平建設	所在地	那覇市港町2-6-18	那覇市小祿5-13-1
P18	那覇	株善太郎組	代表者	野原 広幸	翁長 恵子
P19	那覇	株日光建設	所在地 FAX	那覇市楚辺1-12-26 101 098-833-6256	那覇市長田1-4-8 302号 098-948-7961
P19	那覇	株野原建設	代表者	野原 勝己	上地 修
P27	浦添・西原	オパス株	代表者	與那嶺 健和	與那嶺 泰輔

沖建協会報 2018年12月号(第583号)  
平成30年12月1日発行  
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098(876)-5211  
FAX.098(870)-4565  
編集 株式会社沖縄建設新聞

# 建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

## お知らせ

中小企業退職金共済法の一部改正などに伴い、平成28年4月1日から建退共の制度が下記のとおり変更となりました。

### I. 退職金の予定運用利回りの変更について

中小企業退職金共済法に基づき5年に1度検討を行うこととされており、今回、検討の結果、建退共の退職金の予定運用利回りが2.7%から3.0%に引き上げられました。

このため、退職金の額に関する政令が改正されました。

※平成15年10月1日以降の掛金納付があり、かつ平成28年4月1日以降に退職金請求事由が発生される者については、平成15年10月1日以降の掛金納付分についても3.0%の予定運用利回りが適用されます。

※掛金納付月数が12月以上24月未満の場合、退職金の額は掛金納付額の3～5割程度の額となります。

### II. 退職金の支給要件緩和について

これまで、掛金納付月数が24月未満の場合については退職金の不支給期間となっておりましたが、これが12月未満に緩和されました。(死亡による場合は12月未満で変更ありません。)

※平成28年3月31日以前に退職金請求事由が発生する方は従来通りとなります。

### III. 被共済者による移動通算の申出期間の延長について

建退共制度と中退共制度、清退共制度及び林退共制度との間を移動した場合、退職後2年以内であった通算の申出期間が3年以内まで延長されました。

### IV. 移動通算できる退職金額の上限撤廃について

これまで、移動通算できる額の上限を超える金額は差額給付金として被共済者に支給していましたが、その上限が撤廃され、全額が移動先の制度に移換できるようになりました。

※詳細については、建退共ホームページに掲載しております。

## 国の制度

## 5

## つの特長

### 1 国の制度なので安全確実かつ簡単

退職金は国で定められた基準により計算して確実に支払われます。  
手続きはきわめて簡単です。

### 2 退職金は企業間を通算して計算

退職金は、A企業からB企業にかわっても、それぞれの期間が全部通算して計算されます。

### 3 国が掛金の一部を補助

新たに加えた労働者（被共済者）については、  
国が掛金の一部（初回交付の手帳の50日分）を補助します。

### 4 掛金は損金扱い

掛金は、税法上全額について、法人では損金、個人企業では必要経費として扱われます。  
(法人税法施行令第135条、所得税法施行令第64条1項第1号及び第2項)

### 5 運営費は国が補助

機構の運営に要する主たる費用は、国の補助でまかなわれますので、  
納めた掛金は運用利息とともに退職金給付に充当されます。

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

**建退共沖縄県支部** 電話 098-876-5214



従業員の  
**安心**が  
事業主の  
**信頼**に



建退共は建設業で働く  
労働者のための

**退職金制度です。**



国がつくった退職金制度  
なので安心かつ確実!!

制度説明動画 配信中

建退共

検索



スマートフォン  
携帯サイトは  
こちらから▶▶



けんたいきょう



建設業年末年始  
労働災害防止強調期間

2018年  
12/1<sup>e</sup>  
2019年  
1/15<sup>e</sup>

宮脇 咲良  
(HKT48)

無事故の歳末  
明るい正月



 建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会